「認知症に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

1 調査目的
認知症に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

2 調査項目
(1) 認知症の人と接する機会の有無
(2) 認知症に対するイメージ
(3) 認知症になった場合の暮らし
(4) 認知症に対する不安（本人自身）
(5) 認知症に対する不安（家族）
(6) 成年後見制度に関する認知

3 関係省庁
厚生労働省

4 調査対象
(1) 母集団 全国18歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000人
(3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法

5 調査時期
令和元年12月5日～12月15日

6 調査方法
調査員による個別面接聴取法

7 調査実施機関
一般社団法人中央調査社

8 回収結果
(1) 有効回収数（率）1,632人（54.4％）
(2) 調査不能数（率）1,368人（45.6％）

不能内訳
転居 121 長期不在 77 一時不在 566
住所不明 21 拒否 511 災害 0
その他 72
（病気など）

9 性・年齢別回収結果

<table>
<thead>
<tr>
<th>性・年齢</th>
<th>標本数</th>
<th>回収数</th>
<th>回収率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男</td>
<td>18〜19歳</td>
<td>58</td>
<td>27</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>20〜29歳</td>
<td>284</td>
<td>103</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>30〜39歳</td>
<td>407</td>
<td>178</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>40〜49歳</td>
<td>491</td>
<td>263</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>50〜59歳</td>
<td>488</td>
<td>296</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>60〜69歳</td>
<td>480</td>
<td>311</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>70歳以上</td>
<td>792</td>
<td>454</td>
</tr>
<tr>
<td>性・年齢</td>
<td>標本数</td>
<td>回収数</td>
<td>回収率</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
<td>--------</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>18〜19歳</td>
<td>23</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>20〜29歳</td>
<td>142</td>
<td>51</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>30〜39歳</td>
<td>189</td>
<td>69</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>40〜49歳</td>
<td>254</td>
<td>121</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>50〜59歳</td>
<td>240</td>
<td>132</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>60〜69歳</td>
<td>219</td>
<td>132</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>70歳以上</td>
<td>349</td>
<td>213</td>
</tr>
</tbody>
</table>

計 3,000 1,632 54.4
計 1,428 736 51.5
計 1,572 896 57.0
調査結果の概要

1 認知症の人と接する機会の有無

(1) 認知症の人と接する機会の有無

今までに認知症の人と接したことがあるか聞いたところ、「ある」と答えた者の割合が61.6％、「ない」と答えた者の割合が37.7％となっている。

都市規模別に見ると、大きな差異は見られない。

性別に見ると、「ある」と答えた者の割合は女性で、「ない」と答えた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「ある」と答えた者の割合は50歳代、60歳代で、「ない」と答えた者の割合は18~29歳で、それぞれ高くなっている。 （図1、表1）
表1 認知症の人と接する機会の有無

<table>
<thead>
<tr>
<th>性別</th>
<th>年齢</th>
<th>有無</th>
<th>人数</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男性</td>
<td>18～29歳</td>
<td>あ</td>
<td>130</td>
<td>49.2</td>
<td>49.2</td>
<td>1.5</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>30～39歳</td>
<td>あ</td>
<td>178</td>
<td>57.3</td>
<td>42.1</td>
<td>0.6</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>40～49歳</td>
<td>あ</td>
<td>263</td>
<td>60.1</td>
<td>39.5</td>
<td>0.4</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>50～59歳</td>
<td>あ</td>
<td>296</td>
<td>67.6</td>
<td>31.8</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>60～69歳</td>
<td>あ</td>
<td>311</td>
<td>70.7</td>
<td>29.3</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>70歳以上</td>
<td>あ</td>
<td>454</td>
<td>57.5</td>
<td>41.2</td>
<td>1.3</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>18～29歳</td>
<td>あ</td>
<td>1,632</td>
<td>61.6</td>
<td>37.7</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>30～39歳</td>
<td>あ</td>
<td>1,682</td>
<td>56.4</td>
<td>43.3</td>
<td>0.3</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>40～49歳</td>
<td>あ</td>
<td>1,645</td>
<td>62.2</td>
<td>37.1</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>50～59歳</td>
<td>あ</td>
<td>1,632</td>
<td>61.6</td>
<td>37.7</td>
<td>0.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>

表1－参考 認知症の人と接する機会の有無

<table>
<thead>
<tr>
<th>性別</th>
<th>年齢</th>
<th>有無</th>
<th>人数</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男性</td>
<td>18～29歳</td>
<td>あ</td>
<td>130</td>
<td>49.2</td>
<td>49.2</td>
<td>1.5</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>30～39歳</td>
<td>あ</td>
<td>178</td>
<td>57.3</td>
<td>42.1</td>
<td>0.6</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>40～49歳</td>
<td>あ</td>
<td>263</td>
<td>60.1</td>
<td>39.5</td>
<td>0.4</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>50～59歳</td>
<td>あ</td>
<td>296</td>
<td>67.6</td>
<td>31.8</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>60～69歳</td>
<td>あ</td>
<td>311</td>
<td>70.7</td>
<td>29.3</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>70歳以上</td>
<td>あ</td>
<td>454</td>
<td>57.5</td>
<td>41.2</td>
<td>1.3</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>18～29歳</td>
<td>あ</td>
<td>1,632</td>
<td>61.6</td>
<td>37.7</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>30～39歳</td>
<td>あ</td>
<td>1,682</td>
<td>56.4</td>
<td>43.3</td>
<td>0.3</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>40～49歳</td>
<td>あ</td>
<td>1,645</td>
<td>62.2</td>
<td>37.1</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>50～59歳</td>
<td>あ</td>
<td>1,632</td>
<td>61.6</td>
<td>37.7</td>
<td>0.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>
ア 認知症の人と接する機会

今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者（1,005人）に、経験したことがあるものを聞いたところ、「家族の中に認知症の人がいる（いた）」を挙げた者の割合が47.7%と最も高く、以下、「親戚の中に認知症の人がいる（いた）」（35.8%）、「近所付き合いの中で、認知症の人と接したことがある」（32.2%）、「街中などで、たまたま認知症の人に見かけたことがある」（24.9%）などの順となっている。（複数回答、上位4項目）

（図2、表2）
表2  認知症の人と接する機会

(今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者に、複数回答)

<table>
<thead>
<tr>
<th>話者</th>
<th>家族の中有に認知症の人がいる（いいた）</th>
<th>亲者の中の中有に認知症の人がいる（いいた）</th>
<th>近所に入れ合いの中で、認知症の人と接したことがある</th>
<th>町中などで、たまたま認知症の人を見かけたことがある</th>
<th>認知症の人と接したことがあるため、認知症の介護者の現場を働いている（いいた）</th>
<th>認知症の人と接したことがあるな医療・介護の場外の仕事を通じて</th>
<th>そのかわりの者</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>人</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>総数</td>
<td>1,005</td>
<td>47.7</td>
<td>35.8</td>
<td>32.2</td>
<td>24.9</td>
<td>19.9</td>
<td>17.8</td>
<td>1.9</td>
</tr>
<tr>
<td>(都市規模)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>大都市</td>
<td>276</td>
<td>46.7</td>
<td>38.0</td>
<td>33.7</td>
<td>27.2</td>
<td>18.1</td>
<td>17.8</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>東京都区部</td>
<td>60</td>
<td>40.0</td>
<td>38.3</td>
<td>28.3</td>
<td>11.7</td>
<td>18.3</td>
<td>0.9</td>
<td>0.5</td>
</tr>
<tr>
<td>政令指定都市</td>
<td>216</td>
<td>46.8</td>
<td>37.5</td>
<td>32.4</td>
<td>26.9</td>
<td>19.9</td>
<td>17.6</td>
<td>2.7</td>
</tr>
<tr>
<td>中都市</td>
<td>402</td>
<td>51.0</td>
<td>35.3</td>
<td>28.6</td>
<td>26.4</td>
<td>22.1</td>
<td>17.8</td>
<td>2.6</td>
</tr>
<tr>
<td>小都市</td>
<td>238</td>
<td>45.0</td>
<td>33.6</td>
<td>34.9</td>
<td>19.3</td>
<td>17.6</td>
<td>14.3</td>
<td>1.7</td>
</tr>
<tr>
<td>町村</td>
<td>89</td>
<td>42.7</td>
<td>37.1</td>
<td>37.1</td>
<td>25.8</td>
<td>21.3</td>
<td>15.7</td>
<td>2.2</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>416</td>
<td>46.4</td>
<td>36.5</td>
<td>31.0</td>
<td>25.2</td>
<td>13.5</td>
<td>17.1</td>
<td>1.7</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>589</td>
<td>48.6</td>
<td>35.3</td>
<td>33.1</td>
<td>24.6</td>
<td>24.4</td>
<td>18.3</td>
<td>2.0</td>
</tr>
<tr>
<td>年齢</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>18 ～ 29 歳</td>
<td>64</td>
<td>35.9</td>
<td>34.4</td>
<td>14.1</td>
<td>10.9</td>
<td>28.1</td>
<td>10.9</td>
<td>7.8</td>
</tr>
<tr>
<td>30 ～ 39 歳</td>
<td>102</td>
<td>41.4</td>
<td>31.4</td>
<td>18.6</td>
<td>24.5</td>
<td>30.4</td>
<td>21.6</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>40 ～ 49 歳</td>
<td>158</td>
<td>46.2</td>
<td>34.2</td>
<td>25.9</td>
<td>24.7</td>
<td>24.1</td>
<td>23.4</td>
<td>0.6</td>
</tr>
<tr>
<td>50 ～ 59 歳</td>
<td>200</td>
<td>51.0</td>
<td>39.5</td>
<td>27.0</td>
<td>29.0</td>
<td>22.5</td>
<td>18.0</td>
<td>0.5</td>
</tr>
<tr>
<td>60 ～ 69 歳</td>
<td>220</td>
<td>60.5</td>
<td>36.8</td>
<td>36.8</td>
<td>26.8</td>
<td>15.9</td>
<td>18.6</td>
<td>1.8</td>
</tr>
<tr>
<td>70 歳以上</td>
<td>261</td>
<td>38.7</td>
<td>35.2</td>
<td>46.0</td>
<td>23.8</td>
<td>12.6</td>
<td>13.8</td>
<td>2.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>

表2－参考  認知症の人と接する機会

(今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者に、複数回答)

<table>
<thead>
<tr>
<th>話者</th>
<th>家族の中有に認知症の人がいる（いいた）</th>
<th>亲者の中の中有に認知症の人がいる（いいた）</th>
<th>近所に入れ合いの中で、認知症の人と接したことがある</th>
<th>町中などで、たまたま認知症の人を見かけたことがある</th>
<th>認知症の人と接したことがあるため、認知症の介護者の現場を働いている（いいた）</th>
<th>認知症の人と接したことがあるな医療・介護の場外の仕事を通じて</th>
<th>そのかわりの者</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>人</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
<td>%</td>
</tr>
<tr>
<td>平成27年9月調査</td>
<td>949</td>
<td>43.5</td>
<td>37.2</td>
<td>33.5</td>
<td>19.8</td>
<td>17.7</td>
<td>17.8</td>
<td>1.2</td>
</tr>
<tr>
<td>うち20歳以上</td>
<td>998</td>
<td>47.5</td>
<td>36.0</td>
<td>32.5</td>
<td>24.9</td>
<td>19.8</td>
<td>17.9</td>
<td>1.8</td>
</tr>
<tr>
<td>令和元年12月調査</td>
<td>1,005</td>
<td>47.7</td>
<td>35.8</td>
<td>32.2</td>
<td>24.9</td>
<td>19.9</td>
<td>17.8</td>
<td>1.9</td>
</tr>
</tbody>
</table>
2 認知症に対するイメージ

(1) 認知症に対するイメージ

認知症に対してどのようなイメージを持っているか聞いたところ、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる」と答えた者の割合が6.9%、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」と答えた者の割合が32.6%、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と答えた者の割合が40.0%、「認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけるので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」と答えた者の割合が8.0%、「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」と答えた者の割合が8.4%となっている。

性別に見ると、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」と答えた者の割合は女性で、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と答えた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」と答えた者の割合は50歳代で、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と答えた者の割合は18〜29歳で、それぞれ高くなっている。

（図3、表3）
図3 認知症に対するイメージ

認知症になっても、できることを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今まですでに自立的に生活できる認知症になること

総数 (1,632人)

男性 (736人)

女性 (896人)

【年齢】

18 〜 29歳 (130人)

30 〜 39歳 (178人)

40 〜 49歳 (263人)

50 〜 59歳 (296人)

60 〜 69歳 (311人)

70歳以上 (454人)

その他

わからない

(該当者数)
表3 認知症に対するイメージ

<table>
<thead>
<tr>
<th>性</th>
<th>18 ～ 29歳</th>
<th>30 ～ 39歳</th>
<th>40 ～ 49歳</th>
<th>50 ～ 59歳</th>
<th>60 ～ 69歳</th>
<th>70 歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男</td>
<td>6.9</td>
<td>32.6</td>
<td>40.0</td>
<td>8.0</td>
<td>8.4</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>7.4</td>
<td>30.9</td>
<td>38.6</td>
<td>7.7</td>
<td>10.5</td>
<td>1.2</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>7.1</td>
<td>31.3</td>
<td>39.0</td>
<td>8.4</td>
<td>11.6</td>
<td>1.5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

[都市規模]

<table>
<thead>
<tr>
<th>性</th>
<th>18 ～ 29歳</th>
<th>30 ～ 39歳</th>
<th>40 ～ 49歳</th>
<th>50 ～ 59歳</th>
<th>60 ～ 69歳</th>
<th>70 歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男</td>
<td>6.3</td>
<td>27.4</td>
<td>50.5</td>
<td>5.3</td>
<td>6.3</td>
<td>4.2</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>7.8</td>
<td>31.9</td>
<td>35.8</td>
<td>8.7</td>
<td>8.3</td>
<td>6.3</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>7.0</td>
<td>31.3</td>
<td>39.5</td>
<td>8.7</td>
<td>8.3</td>
<td>6.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

[年齢]

<table>
<thead>
<tr>
<th>性</th>
<th>18 ～ 29歳</th>
<th>30 ～ 39歳</th>
<th>40 ～ 49歳</th>
<th>50 ～ 59歳</th>
<th>60 ～ 69歳</th>
<th>70 歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男</td>
<td>5.4</td>
<td>28.8</td>
<td>43.1</td>
<td>8.6</td>
<td>9.9</td>
<td>1.1</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>8.0</td>
<td>35.7</td>
<td>37.5</td>
<td>7.5</td>
<td>7.1</td>
<td>0.4</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【年齢】

<table>
<thead>
<tr>
<th>性</th>
<th>18 ～ 29歳</th>
<th>30 ～ 39歳</th>
<th>40 ～ 49歳</th>
<th>50 ～ 59歳</th>
<th>60 ～ 69歳</th>
<th>70 歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男</td>
<td>0.8</td>
<td>31.5</td>
<td>52.3</td>
<td>8.5</td>
<td>4.6</td>
<td>2.3</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>3.4</td>
<td>35.4</td>
<td>44.9</td>
<td>7.9</td>
<td>6.7</td>
<td>1.7</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>3.8</td>
<td>37.3</td>
<td>42.6</td>
<td>8.0</td>
<td>8.0</td>
<td>0.4</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【年齢】

<table>
<thead>
<tr>
<th>性</th>
<th>18 ～ 29歳</th>
<th>30 ～ 39歳</th>
<th>40 ～ 49歳</th>
<th>50 ～ 59歳</th>
<th>60 ～ 69歳</th>
<th>70 歳以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男</td>
<td>5.7</td>
<td>39.2</td>
<td>38.9</td>
<td>8.1</td>
<td>6.1</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>9.3</td>
<td>30.2</td>
<td>40.5</td>
<td>8.0</td>
<td>9.0</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>10.8</td>
<td>26.4</td>
<td>33.5</td>
<td>7.7</td>
<td>11.5</td>
<td>1.5</td>
</tr>
<tr>
<td>認知症になっても、できないうちに楽しむことができない</td>
<td>その他の</td>
<td>その他</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>----------------------------------------------</td>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>認知症についても、できないうちに楽しむことができない</td>
<td>1,682</td>
<td>6.8</td>
<td>33.5</td>
<td>35.9</td>
<td>7.6</td>
<td>10.9</td>
</tr>
<tr>
<td>認知症についても、できないうちに楽しむことができない</td>
<td>1,605</td>
<td>7.0</td>
<td>32.8</td>
<td>39.6</td>
<td>7.9</td>
<td>8.5</td>
</tr>
<tr>
<td>認知症についても、できないうちに楽しむことができない</td>
<td>1,632</td>
<td>6.9</td>
<td>32.6</td>
<td>40.0</td>
<td>8.0</td>
<td>8.4</td>
</tr>
</tbody>
</table>

平成27年9月調査（うち20歳以上）
令和元年12月調査
3 認知症になった場合の暮らし

(1) 認知症になった場合の暮らし

認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思うか聞いたところ、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい」と答えた者の割合が12.9％、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」と答えた者の割合が28.9％、「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合が21.6％、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合が27.7％、「認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい」と答えた者の割合が5.8％となっている。

性別に見ると、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」と答えた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい」と答えた者の割合は70歳以上で、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合は30歳代、40歳代で、それぞれ高くなっている。

(図4、表4)
図4 認知症になった場合の暮らし

| 性別 | 数（1,632人） | 12.9 | 28.9 | 21.6 | 27.7 | 5.8 | 2.6 |
| 性 | 736人 | 13.9 | 25.8 | 20.8 | 27.6 | 7.7 | 3.3 |
| 女性 | 896人 | 12.1 | 31.5 | 22.2 | 27.8 | 6.5 | 2.1 |

[年齢]

| 年齢 | 数（人） | 13.8 | 29.2 | 19.2 | 24.8 | 9.2 | 3.8 |
| 18～29歳 | 130人 | 13.9 | 26.4 | 24.3 | 28.4 | 14.8 | 4.6 |
| 30～39歳 | 178人 | 9.0 | 29.8 | 18.5 | 35.4 | 7.3 | 1.7 |
| 40～49歳 | 263人 | 9.9 | 25.5 | 22.1 | 36.9 | 4.6 | 0.8 |
| 50～59歳 | 296人 | 13.9 | 26.4 | 24.3 | 28.4 | 14.8 | 4.6 |
| 60～69歳 | 311人 | 10.9 | 30.9 | 22.2 | 26.0 | 5.5 | 1.0 |
| 70歳以上 | 454人 | 16.5 | 30.8 | 20.9 | 20.9 | 2.8 | 0.2 |

認知症になっても、できないこと等を自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今まで自立的に生活していく

認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい

認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい

その他

わからない
表4 認知症になった場合の暮らし

<table>
<thead>
<tr>
<th>性</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男性</td>
<td>736</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>896</td>
</tr>
<tr>
<td>年齢</td>
<td>18 ～ 29 歳</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>30 ～ 39 歳</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>40 ～ 49 歳</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>50 ～ 59 歳</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>60 ～ 69 歳</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>70 歳 以上</td>
</tr>
</tbody>
</table>
表4-参考 認知症になった場合の暮らし

| 当者数 | 該当者 | 認知症になった場合、介護施設で必要なサポートを利
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

令和元年 12月調査

<table>
<thead>
<tr>
<th>令和元年 12月調査</th>
<th>人</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>令和元年 12月調査</td>
<td>1,682</td>
<td>13.4</td>
<td>30.3</td>
<td>20.2</td>
<td>27.5</td>
<td>4.6</td>
<td>0.4</td>
<td>3.7</td>
</tr>
<tr>
<td>令和元年 12月調査</td>
<td>1,605</td>
<td>12.8</td>
<td>29.0</td>
<td>21.6</td>
<td>27.8</td>
<td>5.7</td>
<td>0.5</td>
<td>2.6</td>
</tr>
<tr>
<td>令和元年 12月調査</td>
<td>1,632</td>
<td>12.9</td>
<td>28.9</td>
<td>21.6</td>
<td>27.7</td>
<td>5.8</td>
<td>0.5</td>
<td>2.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>
4 認知症に対する不安（本人自身）

（1）認知症に対する不安（本人自身）

認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思うか聞いたところ、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」を挙げた者の割合が73.5％と最も高く、以下、「家族以外の周りの人に迷惑をかかってしまわないのではないか」（61.9％）、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」（57.0％）、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたが、これからできなくなってしまうのではないか」（56.4％）などの順となっている。（複数回答、上位4項目）

都市規模別に見ると、「家族以外の周りの人で迷惑をかけてしまうのではないか」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

年齢別に見ると、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」、「家族以外の周りの人で迷惑をかけてしまうのではないか」を挙げた者の割合は30歳代から50歳代で、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」を挙げた者の割合は18〜29歳から40歳代で、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」を挙げた者の割合は50歳代で、それぞれ高くなっている。 （図5、表5）
図5  認知症に対する不安（本人自身）

（複数回答）

<table>
<thead>
<tr>
<th>問題</th>
<th>発症率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか</td>
<td>73.5</td>
</tr>
<tr>
<td>家族以外の周りの人を迷惑をかけてしまうのではないか</td>
<td>61.9</td>
</tr>
<tr>
<td>家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか</td>
<td>57.0</td>
</tr>
<tr>
<td>買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか</td>
<td>56.4</td>
</tr>
<tr>
<td>外出した際に家への帰り道がわからないくなったりするのではないか</td>
<td>44.1</td>
</tr>
<tr>
<td>経済的に苦しくなるのではないか</td>
<td>41.5</td>
</tr>
<tr>
<td>病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか</td>
<td>29.3</td>
</tr>
<tr>
<td>必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいでの生活できなくなるのではないか</td>
<td>28.1</td>
</tr>
<tr>
<td>不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか</td>
<td>27.2</td>
</tr>
<tr>
<td>介護施設が利用できないのではないか</td>
<td>26.8</td>
</tr>
<tr>
<td>誇りを持って生活できなくなるのではないか</td>
<td>24.9</td>
</tr>
<tr>
<td>どこに相談すべきかわからないのではないか</td>
<td>20.8</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>0.3</td>
</tr>
<tr>
<td>特にない</td>
<td>1.5</td>
</tr>
<tr>
<td>わからない</td>
<td>1.5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

総数（n=1,632人、M.T.=494.9%）
表5 認知症に対する不安（本人自身）

| 性別 | 家族に身体的・精神的負担をかけるのではなくか | 家族以外の周りの人に迷惑をかけるのではなくか | 経済的に害しようなことではないか | 介護施設が利用できないのではないか | どこに相談すればいいかわからないのではないか | どこに相談すればいいかわからないのではないかをどうするのではないか | どこに相談すればいいかわからないのではないか | どこに相談すればいいかわからないのではないかをどうするのではないか |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 男性 | 736 | 71.6 | 61.8 | 54.5 | 41.4 | 42.8 | 30.8 | 27.2 | 26.9 | 24.2 | 24.9 | 20.7 | 0.3 | 1.8 | 1.9 | 485.3 |
| 女性 | 896 | 75.1 | 62.1 | 59.2 | 57.8 | 46.3 | 40.5 | 28.0 | 28.8 | 27.5 | 25.0 | 25.9 | 0.3 | 1.2 | 1.1 | 502.7 |
| 18 ～ 29 歳 | 130 | 80.6 | 63.8 | 70.0 | 56.2 | 41.5 | 34.6 | 26.9 | 21.5 | 18.5 | 17.7 | 21.5 | 0.0 | - | - | 482.3 |
| 30 ～ 39 歳 | 178 | 86.3 | 71.9 | 65.7 | 62.4 | 50.0 | 48.9 | 27.5 | 25.9 | 28.2 | 23.6 | 24.2 | 19.1 | 0.6 | 0.6 | 529.8 |
| 40 ～ 49 歳 | 263 | 80.6 | 73.8 | 66.5 | 53.2 | 47.5 | 52.9 | 30.0 | 25.5 | 28.1 | 24.0 | 24.0 | 22.4 | 0.8 | 0.8 | 535.3 |
| 50 ～ 59 歳 | 296 | 80.4 | 69.3 | 61.3 | 63.9 | 50.7 | 49.0 | 31.4 | 30.7 | 36.7 | 29.7 | 30.1 | 20.9 | 0.3 | 0.3 | 535.7 |
| 60 ～ 69 歳 | 311 | 75.6 | 55.9 | 51.4 | 60.1 | 41.5 | 41.5 | 29.9 | 31.8 | 26.7 | 31.5 | 26.7 | 22.2 | 1.0 | 0.6 | 1.6 | 498.1 |
| 70 歳以上 | 454 | 59.0 | 50.0 | 45.6 | 48.5 | 38.1 | 29.3 | 28.4 | 26.0 | 20.3 | 24.4 | 23.3 | 19.2 | 0.4 | 4.4 | 2.9 | 421.8 |

表5－参考 認知症に対する不安（本人自身）
5 認知症に対する不安（家族）

(1) 認知症に対する不安（家族）

家族が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思うか聞いたところ、「ストレスや精神的負担が大きいのではないか」を挙げた者の割合が65.1%と最も高く、以下、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」（58.3%），「経済的負担が大きいのではないか」（49.7%），「自分（あなた）や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」（47.1%）などの順となっている。（複数回答、上位4項目）

性別に見ると、大きな差異は見られない。（図6、表6）

図6 認知症に対する不安（家族）

![図6](https://example.com/graph6.png)
表6 認知症に対する不安（家族）

<table>
<thead>
<tr>
<th>介護施設が利用できず</th>
<th>介護施設が利用できる</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>当者</td>
<td>者</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>性別</th>
<th>年齢</th>
<th>人数</th>
<th>自分を含まず</th>
<th>大切な人を含まず</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男</td>
<td>18 〜29歳</td>
<td>1,632</td>
<td>65.1</td>
<td>58.3</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>30 〜39歳</td>
<td>65.1</td>
<td>64.7</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男</td>
<td>40 〜49歳</td>
<td>335</td>
<td>63.6</td>
<td>59.1</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>50 〜59歳</td>
<td>648</td>
<td>67.0</td>
<td>59.1</td>
</tr>
<tr>
<td>男</td>
<td>60 〜69歳</td>
<td>403</td>
<td>65.3</td>
<td>56.6</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>70歳以上</td>
<td>151</td>
<td>61.6</td>
<td>56.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

表6－参考 認知症に対する不安（家族）

<table>
<thead>
<tr>
<th>介護施設の利用</th>
<th>経済的な負担</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>当者</td>
<td>者</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>介護施設が利用できず</th>
<th>介護施設が利用できる</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>当者</td>
<td>者</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>自己</th>
<th>大切な人</th>
<th>人数</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
<th>%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>男</td>
<td>18 〜29歳</td>
<td>1,632</td>
<td>65.1</td>
<td>58.3</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>30 〜39歳</td>
<td>65.1</td>
<td>64.7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男</td>
<td>40 〜49歳</td>
<td>335</td>
<td>63.6</td>
<td>59.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>50 〜59歳</td>
<td>648</td>
<td>67.0</td>
<td>59.1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男</td>
<td>60 〜69歳</td>
<td>403</td>
<td>65.3</td>
<td>56.6</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>70歳以上</td>
<td>151</td>
<td>61.6</td>
<td>56.3</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（複数回答）
成年後見制度に関する認知

(1) 成年後見制度に関する認知

「成年後見制度」について、どのようなことを知っているか聞いたところ、「成年後見制度」は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である」を挙げた者の割合が40.8%と最も高く、以下、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」(30.6%)、「本人の判断能力の程度により「後見」、「保佐」、「補助」の3類型がある」(15.1%)の順となっている。なお、「内容は知らないが言葉を知っている」と答えた者の割合が22.3%、「内容も言葉も知らない」と答えた者の割合が26.7%となっている。（複数回答）

都市規模別に見ると、「成年後見制度」は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」、「本人の判断能力の程度により「後見」、「保佐」、「補助」の3類型がある」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「成年後見制度」は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」を挙げた者の割合は50歳代、60歳代で高くなっている。(図7、表7)

図7 成年後見制度に関する認知

(複数回答)
### 成年後見制度に関する認知

<table>
<thead>
<tr>
<th>話当者数</th>
<th>～人格の精神障害や知的障害を有する方のための制度</th>
<th>認知症の認知症の進行により判断能力の低下が見られる方の判断能力の低下によるInternistの判断権利や財産の管理が困難な方のための制度</th>
<th>本人の判断能力の程度により後見人が選ばれる制度</th>
<th>～後見人が決定される将来の判断能力の低下時に、後見人となるべき人を決める制度</th>
<th>他</th>
<th>内容は知らないが、言葉を知っている</th>
<th>内容は知らないが、言葉を知らない</th>
<th>計（M.T.）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>人 % % % % % % %</td>
<td>1,632</td>
<td>40.8</td>
<td>30.6</td>
<td>15.1</td>
<td>22.3</td>
<td>26.7</td>
<td>2.4</td>
<td>137.9</td>
</tr>
<tr>
<td>大都市</td>
<td>430</td>
<td>46.5</td>
<td>34.4</td>
<td>19.1</td>
<td>-</td>
<td>18.6</td>
<td>24.7</td>
<td>2.3</td>
</tr>
<tr>
<td>～政令指定都市</td>
<td>95</td>
<td>49.5</td>
<td>37.9</td>
<td>25.3</td>
<td>-</td>
<td>16.8</td>
<td>24.2</td>
<td>5.3</td>
</tr>
<tr>
<td>中部</td>
<td>335</td>
<td>45.7</td>
<td>33.4</td>
<td>17.3</td>
<td>-</td>
<td>19.1</td>
<td>24.8</td>
<td>1.5</td>
</tr>
<tr>
<td>小都市</td>
<td>648</td>
<td>42.3</td>
<td>31.6</td>
<td>15.1</td>
<td>-</td>
<td>22.7</td>
<td>26.5</td>
<td>1.7</td>
</tr>
<tr>
<td>町村</td>
<td>151</td>
<td>29.8</td>
<td>28.5</td>
<td>10.6</td>
<td>-</td>
<td>21.2</td>
<td>33.1</td>
<td>4.0</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>736</td>
<td>38.2</td>
<td>26.1</td>
<td>13.3</td>
<td>-</td>
<td>24.2</td>
<td>28.4</td>
<td>2.7</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>896</td>
<td>43.0</td>
<td>34.4</td>
<td>16.5</td>
<td>-</td>
<td>20.8</td>
<td>25.2</td>
<td>2.1</td>
</tr>
<tr>
<td>～18歳</td>
<td>130</td>
<td>20.6</td>
<td>14.6</td>
<td>12.3</td>
<td>-</td>
<td>27.7</td>
<td>44.6</td>
<td>3.1</td>
</tr>
<tr>
<td>～30歳</td>
<td>178</td>
<td>32.6</td>
<td>22.5</td>
<td>12.9</td>
<td>-</td>
<td>23.6</td>
<td>36.5</td>
<td>2.2</td>
</tr>
<tr>
<td>～40歳</td>
<td>263</td>
<td>41.4</td>
<td>30.0</td>
<td>16.3</td>
<td>-</td>
<td>20.2</td>
<td>28.1</td>
<td>1.5</td>
</tr>
<tr>
<td>～50歳</td>
<td>296</td>
<td>50.7</td>
<td>36.5</td>
<td>14.2</td>
<td>-</td>
<td>20.9</td>
<td>19.9</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>～60歳</td>
<td>311</td>
<td>51.4</td>
<td>38.6</td>
<td>18.0</td>
<td>-</td>
<td>19.3</td>
<td>19.9</td>
<td>1.9</td>
</tr>
<tr>
<td>70歳以上</td>
<td>454</td>
<td>36.1</td>
<td>29.5</td>
<td>14.5</td>
<td>-</td>
<td>24.4</td>
<td>25.8</td>
<td>4.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>
話は変わりますが、次に「認知症」に関してお聞きします。

1. 認知症の人と接する機会の有無

（【資料】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。）

【資料】
認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んできたり、働きが悪くなったりしたためにさまざまな障害が起こり、一定期間継続して生活上の支障が出てきている状況を指します。2018年には認知症の人の数は推計で500万人を超え、65歳以上の高齢者の約7人に1人が認知症と見込まれています。

Q1 あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか。それともありませんか。
（注：ご自身が認知症であると言われた場合には、「ある」に○をする）

<table>
<thead>
<tr>
<th>ある</th>
<th>ない</th>
<th>わからない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>61.6</td>
<td>37.7</td>
<td>0.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（Q1で「ある」と答えた方に）

SQ [回答票1] 経験したことがあるものをこの中からいくつでもあげてください。（M.A.）
（注：ご自身が認知症であると言われた場合には、「（ア）家族の中に認知症の人がいる（いた）」に○をする）

(n=1,005)

<table>
<thead>
<tr>
<th>(ア)</th>
<th>(イ)</th>
<th>(ウ)</th>
<th>(エ)</th>
<th>(オ)</th>
<th>(カ)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>47.7</td>
<td>35.8</td>
<td>32.2</td>
<td>19.9</td>
<td>17.8</td>
<td>24.9</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(その他）

(M.T.=180.4)
2. 認知症に対するイメージ

（全員の方に）

Q2〔回答票2〕あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

(6.9) (ア) 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
(32.6) (イ) 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していく
(40.0) (ウ) 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
(8.0) (エ) 認知症になると、暴言、暴力など周りの人々に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しい
(8.4) (オ) 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう

(0.7) その他（                           ）
(3.4) わからない

3. 認知症になった場合の暮らし

Q3〔回答票3〕もし、あなたが認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

（注：既にご自身が認知症である場合には、「では、今後どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。」と読み替える）

(12.9) (ア) 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
(28.9) (イ) 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
(21.6) (ウ) 認知症になると、身の回りのことができなくなってしてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
(27.7) (エ) 認知症になると、周りの人々に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
(5.8) (オ) 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないように、ひとりで暮らしていきたい
(0.5) その他（                           ）
(2.6) わからない
Q4 [回答票4] もし、あなたご自身が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安を感じるものをして中からいくつでもあげてください。（M.A.）
(注: 既にご自身が認知症である場合には、「では、どのようなことに不安を感じていますか。特に不安を感じるものをして中からいくつでもあげてください。」と読み替える)

(57.0) (ア) 家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
(56.4) (イ) 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
(24.9) (ウ) 説りを持って生活できなくなるのではないか
(29.3) (エ) 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
(20.8) (オ) どこに相談すればいいかわからないのではないか
(73.5) (カ) 家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか
(41.5) (キ) 経済的に苦しくなるのではないか
(28.1) (ク) 必要な介護サービスを利用すことができず、現在の住まいでの生活できなくなるのではないか
(26.8) (ケ) 介護施設が利用できないのではないか
(44.1) (コ) 出外した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
(27.2) (サ) 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか
(61.9) (シ) 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
(0.3) (その他 )
(1.5) 特にならない
(1.5) わからない
(M.T.=494.9)
5. 認知症に対する不安（家族）

Q5 【回答票5】もし、あなたのご家族が認知症になったとしたら、あなたはどのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安と感じるものの中からいくつかでもあげてください。

（注：既にご家族に認知症の方がいる場合には、「では、ご家族の認知症について、あなたはどのようなことに不安を感じていますか。特に不安と感じるものの中からいくつかでもあげてください。」と読み替える）

(47.1) (ア) 自分（あなた）や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
(41.8) (イ) 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるので、周りの人々の負担が大きくなるのではないか
(33.8) (ウ) 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
(20.2) (エ) どこに相談すればいいかわからないのではないか
(65.1) (オ) ストレスや精神的負担が大きいのではないか
(49.7) (カ) 経済的負担が大きいのではないか
(41.2) (キ) 介護にかかる負担によって自分の仕事が続けなくなってしまうのではないか
(24.6) (ク) 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
(28.9) (ケ) 介護施設が利用できないのではないか
(39.3) (コ) 外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
(26.7) (サ) 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか
(58.3) (シ) 家族以外の周りの人々に迷惑をかけてしまうのではないか
( 0.6) その他（ ）
( 3.1) 特にない
( 2.1) わからない

(M.T.=482.4)

6. 成年後見制度に関する認知

Q6 【回答票6】あなたは、「成年後見制度」について、どのようなことを知っていますか。この中からいくつかでもあげてください。（M.A.）

(40.8) (ア) 「成年後見制度」は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である
(15.1) (イ) 本人の判断能力の程度により「後見」、「保佐」、「補助」の3類型がある
(30.6) (ウ) 将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある
(22.3) (エ) 内容は知らないが言葉を知っている
(26.7) (オ) 内容も言葉も知らない
( -) その他（ ）
( 2.4) わからない

(M.T.=137.9)